

国立研究開発法人科学技術振興機構の
助成資金の運用手法の在り方に関する検討会議

令和4年12月12日
研究振興局長決定

1. 趣旨

国立研究開発法人科学技術振興機構が行う大学ファンドの助成資金の運用に関して、今後の運用及び運用益からの助成を行うに当たり必要と考えられる新たな運用手法の妥当性について、専門家による検討を行う。

2. 検討事項

- (1) 新たな運用手法の妥当性について
- (2) その他必要な事項

3. 実施方法

- (1) 本会議は、別紙の者により構成するものとする。
- (2) 本会議は、議事及び議事録を公開することを原則とする。ただし、以下の場合には全部又は一部を非公開とすることができる。
 - 一. 議論の内容が投資行動の憶測等につながり市場へ影響を及ぼす可能性がある場合
 - 二. 個人又は法人の権利若しくは正当な利益又は公共の利益を害するおそれがある場合
 - 三. 検討の円滑な実施に影響が生じるものとして本会議が非公開とすることが適当と認めた場合

4. 実施期間

令和4年12月15日から令和5年3月31日までとする。

5. その他

本会議に関する庶務は、内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局の協力を得て、研究振興局大学研究基盤整備課において処理する。

国立研究開発法人科学技術振興機構の
助成資金の運用手法の在り方に関する検討会議
委員名簿

	加藤 康之	京都先端科学大学教授
座長	川北 英隆	京都大学大学院経営管理研究部客員教授
	津金 真理子	アセットマネジメント One 株式会社 社外取締役 公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構理事
	徳島 勝幸	ニッセイ基礎研究所金融研究部取締役研究理事

(敬称略、五十音順)